

幸子の庭

本多明作 小峰書店

幸子のうちの広い庭は、曾お爺ちゃんが曾お婆ちゃんの
ために造った思い出の庭。でも今は、面倒をみる人もなく、
おばけ屋敷のようになっていた。その曾お婆ちゃんが人生
最後の旅の締めくくりに九州から訪ねてくることになっ
た。慌てて庭の剪定を頼んだ小橋造園の田坂という職人
は、若いけれど腕のいい人だった。

クラスで浮いてしまい学校を休み
がちだった幸子は、田坂の手によつ
て庭が蘇っていく様子を見て、久
しぶりに爽快な気分になる。そして
幸子の気持ちも変わり始める。

